

中高数学 教採受験生向け

学習指導要領

整理⑩(全10回)

確認問題⑩ 中学校学習指導要領数学 指導計画の作成と内容の取扱い
 高等学校学習指導要領数学 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、**数学的活動**を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、**(1) 数学的**な見方・考え方を働かせながら、日常の事象や社会の事象を**(2) 数理的**に捉え、**数学の問題**を見だし、問題を自立的、**(3) 協働的**に解決し、学習の過程を振り返り、**(4) 概念**を形成するなどの学習の充実を図ること。

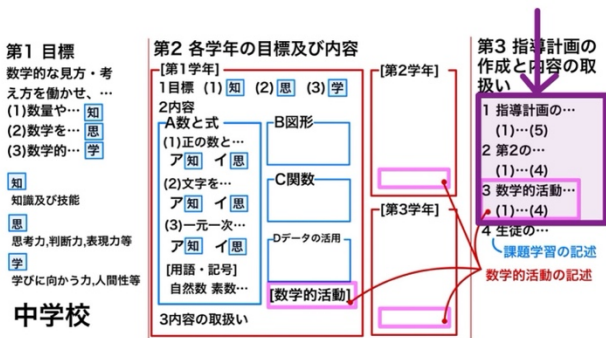
【選択肢】数学的、数理的、合理的、協働的、対話的、概念、学力

基礎知識編

- ① 全体構造(中学校・高校)
- ② 内容(中学校)
- ③ 内容(高校)
- ④ 学習過程のイメージ

頻出箇所編

- ⑤ 中学校・高校の全体目標
- ⑥ 中学校学年別目標(思)
- ⑦ 中学校学年別目標(学)
- ⑧ 中学校「内容」の頻出表現
- ⑨ 数学的活動
- ⑩ 「取扱い」の表現



⑩ 「取扱い」の表現

(中学校 第3「指導計画の作成と内容の取扱い」
 高校 第3款「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」)

1(1)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、**数学的活動**を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、**数学的な見方・考え方を働かせながら**、日常の事象や社会の事象を**数理的**に捉え、**数学の問題**を見だし、問題を**自立的**、**協働的**に解決し、学習の過程を振り返り、**概念**を形成するなどの学習の充実を図ること。

1(4) 障害のある生徒への指導 ※高校は(5)

障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を**計画的**、**組織的**に行うこと。

3 数学的活動の取組における配慮事項 ※中学のみ

(1) 数学的活動を楽しめるようにするとともに、**数学を学習することの意義**や**数学の必要性**などを実感する機会を設けること。

中学数学で「意義」が出るのはこだけ

確認問題⑩ 中学校学習指導要領数学 指導計画の作成と内容の取扱い
 高等学校学習指導要領数学 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、**数学的活動**を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、**(1)**)な見方・考え方を働かせながら、日常の事象や社会の事象を**(2)**)に捉え、**数学の問題**を見だし、問題を自立的、**(3)**)に解決し、学習の過程を振り返り、**(4)**)を形成するなどの学習の充実を図ること。

【選択肢】数学的、数理的、合理的、協働的、対話的、概念、学力